

HopStepJump

<https://toyono-jinikyo.com/>

7

授業づくり⑤・⑥

～授業の導入・展開・まとめについて～

初任者研修第6・7回は大阪教育大学附属池田小・中学校を会場に、授業展開や指導技術など授業づくりの具体を学ぶ研修でした。8月3日は小学校班、4日は中学校班で実施し、午前の10年経験者研修との合同実施（通称・コラボ研修）では、グループごとに初任者による模擬授業をもとに協議をおこない、具体的な改善点や指導のポイントを10年経験者から助言をいただきました。午後は附属池田小・中学校の先生による模擬授業や研究協議・質疑応答をおこない、児童・生徒の視点から授業づくりを考えることができ、1学期の成果と課題をふりかえり、2学期以降の授業づくりについて考える機会となりました。

振り返りシートもコラボ！～10年研の振り返りシートより抜粋～

初任者4人の先生の授業を見せていただき、それぞれの工夫が見えてよかったです。研究協議では一生懸命なようすがまぶしく、**がんばってほしいな、一緒にやっというと思える内容になりました。**

初任者の方の模擬授業を見せていただくことで、普段の自分自身の授業について振り返るよい機会になりました。**なるほどと参考になるところもたくさんあり、授業準備の大切さも改めて感じました。**

初任の先生方の授業から、教材研究への熱量を感じ、2学期にむけての教材研究をもっとやり込みたくなりました。**アドバイスを伝えることで、自分の視野が広がったように感じます。**めあて、視線、言葉がけ、教具の準備など、自分への反省点として深めていきたいと思います。

初任の先生方のがんばりを見て、自分も初任の頃を思い出し、初心を忘れてはいけないという気持ちが強くなりました。授業を楽しく面白くしようという思いや工夫をたくさんもたれていたのが、負けてられないなと思いました。また、どの先生も**目的や課題意識、改善点をしっかりとたれているのも頼もしく感じました。**

初任者の方は本当に緊張したと思いますが、**一つひとつを丁寧にされている初々しい姿を見て、私も教材に丁寧に向き合っていきたいと思いました。**授業をしていただいたことで、こちらの思いやアイデアもたくさん出てとても勉強になりました。

3人の初任者の先生が**いろいろと準備を重ねて臨んでいたのがとても伝わりました。**それぞれの学校や学年でそろえているところをおさえつつ、クラスの子どもの様子を思い浮かべながら指導案を練り直しているところもあって、とても勉強されているんだなと思いました。

自分自身が10年前にもっていた大切なものを本日改めて思い出すことができ、研修のありがたみを感じました。また**今後も初任者の方をはじめ、いろいろな先生方と関わり、授業や子どもたちのことについて話していきたい**と思いました。

初任者の先生方は、この日のためにたくさん準備をして大変だったと思います。本当にお疲れさまでした。授業や生徒の話だけでなく、他市町のようなテストの作成、教科の取り組みなど、**同じ教科ならではの悩みも共有でき、安心しました。**今後につながる時間になりました。

10年目の先生方にとっても貴重な機会や経験になったことがこれらの記述から分かります。みなさんが10年目の先生から学び、刺激を受ける一方で、10年目の先生方もみなさんから学び、刺激を受ける時間になったことをうれしく思います。また、10年の経験におごることなく学び続ける姿勢、初任者から学び取り、今後活かそうとする姿勢や心意気は、ぜひみなさんの今後のキャリアのモデルにしてもらいたいです。

この研修通信を読むころには、コラボ研修で協議した模擬授業を実際におこなった方もおられるかもしれません。助言をふまえて、できたこともあると思いますが、いただいた助言の中には他の授業にも応用できる視点もあると思います。コラボ研修をきっかけに、自分の授業づくりでの新たな気づきを今後活かしてください。



コラボ研修にむけて、事前に10年経験者研修では授業づくりの指導・助言、授業改善、コーチングといった内容の講義・演習をおこなっています。また、「ミドルリーダーとしての役割とは？」という問いに、自分なりの答えを見つけるために年間を通して研修を実施しています。(10年経験者研修の研修通信はWebページにて見ることができます。<https://toyono-jinjikyo.com/training/>)

初任者の先生とご一緒する中で自分のことを思い出しました。自分のことに必死で、周りの先生にもうまく甘えられなかった経験から、**どの先生にも声をかけてくれる先輩がいればいい**なと思いました。私もそういう10年目になりたいと思いました。

授業の組み立てや授業時のふるまい方などについて、自分の感じたことを伝え方を工夫して伝えました。職場の同僚とも今回のような関わりを意識して、**共に切磋琢磨していけるような関係づくりを**していきたいなと思いました。

1人で教材研究をしていると行き詰ったり偏ってしまったりすることがあると思いますが、今回のように何人か集まって教材を相談できるのは、ヒントや気づきをもらえてとてもいいなと改めて感じました。学校に戻っても**教材や授業について語り合う時間を大切に取って**いきたいと思いました。

学校や経験年数が違って、授業内容や指導についての悩みは同じなんだと納得するとともに、初任の先生方が悩んでいるのはもったいないなとも思いました。気兼ねなくお互いに相談しあえたらよりよい教育が生まれてくると思えました。自校に戻って、**これまで以上に経験年数の少ない教員とのコミュニケーションをとって**いきたいと思います。

今回のコラボ研修をきっかけに、普段からの校内でのつながりや関わりが増えることを期待しています。改めて、初任者研修の年間テーマは「子ども主体の学級・授業づくり」です。(※研修の手引2ページ参照)「子ども主体」とはどのようなことでしょうか。もちろんそれぞれが思い描く姿があると思います。子ども主体の学級や授業を考えるために、普段から子どもの話や授業の話をお互いに教職員同士でどれくらいしているのでしょうか。それらの話はとても楽しくておもしろくて深い話なのですが、どうしても目まぐるしく過ぎていく日々の中でなかなか時間をつくれな現状があるかもしれません。10年経験者研修の振り返りシートの記述から、「このような思いをもった先輩が同じ職場にいる」ということをお伝えできればと思い掲載しました。そして、半年後にはみなさんも「2年目」としての姿が求められます。自分のクラスや学年だけでなく、学年や職場の雰囲気をつくる担い手にみなさんになっていってください。



午前の模擬授業、午後の附属池田小・中学校の先生が授業者の模擬授業や授業実践のお話から、「子ども主体の授業づくり」について考える一日となりました。みなさんの振り返りシートの記述には「授業を受ける子どもの視点」での感想や気づきが見られました。(以下は初任者研修の振り返りシートからの抜粋です。)

実際に模擬授業を受けてみて、子どもたちの立場から見ると、**先生の何気ない言葉や表情が安心して授業に参加することにつながると実感しました。**また、先生が楽しそうに授業をしていることで授業での活動自体もとても楽しいような気がしてくるということに気づきました。算数に対して苦手意識をもつ子にも、楽しいなと思ってもらえるように、私自身も授業を楽しんでやりたいと思いました。

子ども役をしてみて、初めて**子どもの困りごとを感じる**ことができました。授業をしたときのようすを想像し、教室の前からみた子どもたちの姿を考えて授業づくりをしてしまいがちでしたが、いざ子ども役をしてみて、ノートの取り方に迷いを感じるなど、普段関わっているあの子のようすの原因が見えてきました。

一日授業を受けて大変でしたが、生徒は週5日していて、加えて宿題もしているので、**生徒の立場になってもっと考えないといけない**なと思いました。

研修はあくまできっかけに過ぎません。研修での気づきをもとに試すこと、そこから考え、また試すことを繰り返して少しずつ手ごたえを感じ、授業や自分を理解していくものです。**「子どもとともに学び続ける教職員」**という豊能地区がめざす教職員像をこれからも意識して、同じ空の下、がんばりましょう!!